



第21号 2021年9月発行

SC経営士会 業務・広報グループ  
 一社) 日本ショッピングセンター協会 SC経営士会事務局

## SC経営士会 秋の例会（震災復興10年後の三陸）先送りのご案内

東北ブロック 小原ブロック長

2021年度SC経営士会秋の研修会として東北ブロック主催の復興三陸視察を企画していましたが、しかしながらコロナ感染の拡大により今年度の開催は断念せざるを得ず、あらためて次年度に向け再検討することとなりました。

2011.7.8に当時の大震災会長、石津副会長他12名で震災直後の大槌、釜石などの被災地を訪れその現状を目の当たりにするとともに、現地の人々の復興にける思いを聞いて以来、女川や仙台などSC経営士会として様々な形で三陸の復興への道のりの10年を見続けてきました。

今回、その集大成として10年の節目を迎えた三陸の今を視察しながら、SCの地域とのかかわり、防災の在り方などを改めて考える有意義な研修会を企画していたところでしたが、今後の社会情勢も考慮しながら仕切り直しをしたいと思います。ただ、コロナ禍で不透明な部分もありますが、未曾有の大災害の中から復活しつつある地域の現状と問題点を見つめなおすことはやはり必要ではないかと考えます。

今回の企画内容の骨子は以下の通りでしたが、仕切り直しの際には再度ご案内しますので多数の参加を期待しております。

1. 日時 2022年 月 日（ ）、 日（ ）（1泊2日）

### [1日目]

- 9:30 仙台駅前集合
- 10:00 秋の例会&荒浜慰霊碑視察  
 セミナー1（40分） 震災復興支援について  
 セミナー2（40分） 被災地からの再生について  
 昼食 会場：JRフルーツパーク荒浜
- 13:30 女川視察
- 18:00 途中気仙沼震災遺構視察（or三陸さんさん商店街経由で）  
 陸前高田 意見交換会&懇親会 [宿泊：キャピタルホテル1000]

荒浜フルーツパーク



荒浜小学校



### [2日目]

- 9:00 陸前高田  
 道の駅高田松原（津波伝承館&奇跡の一本松）
- 10:30 キャッセン大船渡視察
- 12:30 釜石視察（昼食）  
 中村家&イオンタウン釜石、鶴住居スタジアムほか
- 14:00 大槌マスト視察（大槌夢会議のその後）
- 18:30 仙台到着

キャッセン大船渡



道の駅高田松原



大槌夢会議(2011.7.8)



大槌マスト



シーパル女川



# 北海道ブロック 活動報告

7月22日(木)今年度の第1回北海道ブロック運営会議を実施いたしました。西内ブロック長より、幹事会の報告及び、例年開催している北海道ブロック主催の「SC道場(セミナー)」について、前年の課題を踏まえ、今年の方針を決定いたしました。今年度は「仮」働き方、消費行動の多様化により求められるSCの対応・課題解決のヒント」をテーマとし、SCに携わる若手、中堅社員を対象にディスカッションも取り入れたセミナーを開催する予定です。

北海道内ではちょうど感染者が落ち着き7月12日でまん延防止等重点措置が解除されたタイミングであり、厳しい営業状況が続く飲食店応援のため、ミーティング会場をご協力いただいた札幌駅総合開発(株)さんが運営する「ステラプレイス」レストランフロアで、SC経営士2期の先輩である「4丁目プラザ(2022年1月閉館予定)」齋藤常務にもご出席いただき短時間、少人数(4名)、感染対策を徹底した懇親会も実施いたしました。

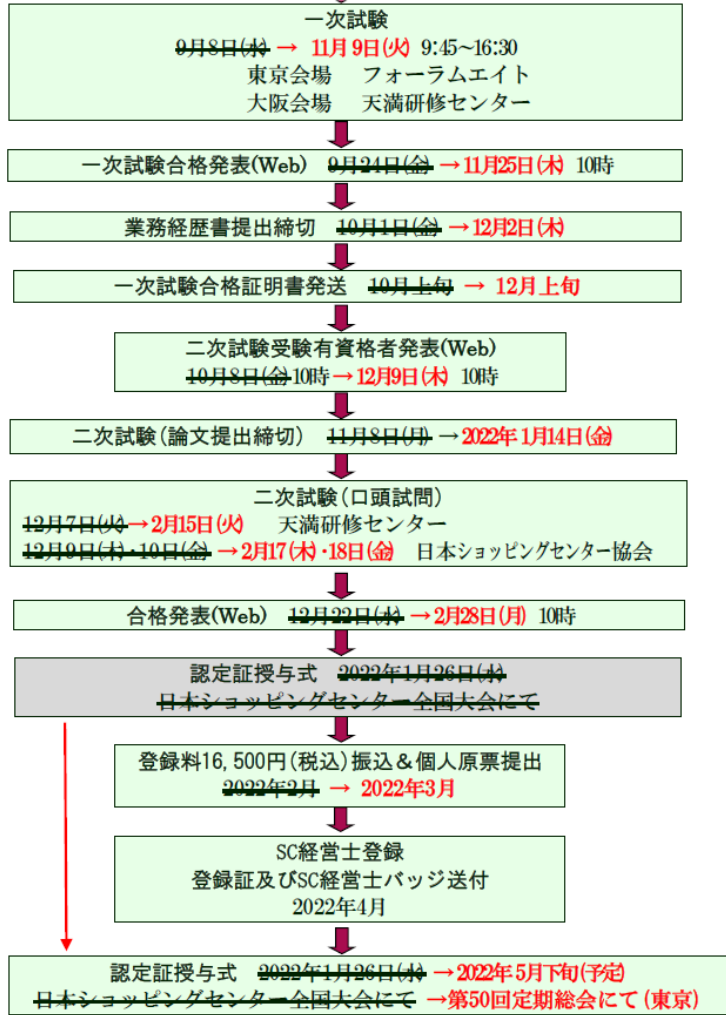


## 第30期SC経営士一次試験 実施延期

2021年9月8日(水)に実施が予定されていた第30期(2021年度)SC経営士試験一次試験は、緊急事態宣言延長を受けて「延期」されました。

県境を跨いでの都道府県間の移動が自粛される中、当初の実施日に、受験者が安心して受験することが困難と判断されました。

今後の受験スケジュールは、右記の通りです。



第30期(2021年度)

**SC経営士**  
Certified Shopping Center Business Administrator

**試験案内**

SC経営士とは、SC(ショッピングセンター)に関する専門知識を総合的・体系的に修得し、その専門知識を活かして、顧客および経営者のSC経営やSC業界、地域社会の発展に貢献できる実務を持った方で、当協会が実施するSC経営士試験に合格し、登録した方をいいます。現在、約750名のSC経営士が、さまざまなSCのビジネスシーンで活躍しています。

【試験日の変更がない試験合格者がSC経営士になるには、会員になっていただくことが条件となります。】

**試験日** 一次試験(筆記): 2021年9月8日(水) 9:45~16:30  
二次試験(論文・口頭試問):  
2021年12月7日(火)  
2021年12月9日(木)・10日(金)

**申込受付期間** 2021年6月1日(火)~30日(水)

**試験会場** 一次試験: ①フォーラムエイト ②天満研修センター  
二次試験: ③日本ショッピングセンター協会 ④天満研修センター

受験案内、受験申込書は、以下のURLからダウンロードできます。  
[http://www.jcsc.or.jp/sc\\_education/keiishit/test](http://www.jcsc.or.jp/sc_education/keiishit/test)

**JCS** 日本ショッピングセンター協会

## 【副会長ご紹介】 松野副会長

### ●ご挨拶

副会長を務めさせていただいております松野です。会社では会計業務を主体に業務全般を担当しております。来年には入社40年を迎えますが、思い起こすと入社当時、SCについては右も左もわからない素人集団でした。テナントの皆様からお叱りを受ける事もあり、これではいけないとSC協会主催のセミナーや見学会に参加して、沢山の方々と名刺交換をさせていただき、困った時には先輩の方をお訪ねしてご相談させていただくことも多々ありました。SC経営士には、先輩経営士の方からの勧めもあり1996年に資格取得をさせていただき、その後も経営士会、研修会、懇親会等で色々なことを学ばせていただきました。単館SCの中でも、私どものように小さな企業の者にとりましては、このような機会を得ることができましたことに感謝あるのみです。還暦を前にして、これまでいただいたご恩に少しでも恩返しをしなくてはならないと決意していた中で協会活動にも取り組ませていただいております。

昨年からのコロナ禍の中で活動も自粛している状況ですが、アフターコロナに向けまして各ブロック長のみならず減額され限られた予算の中で企画をされています。秋の例会で予定されておりました東北ブロック主催の復興三陸視察研修会は、残念ながら延期になりましたが、来年の開催時には多くの経営士のみならずにご参加いただきますようどうぞよろしくお願いたします。



### ●プロフィール

1960年5月16日生まれ 神奈川県横浜市出身、中学生から千葉県鎌ヶ谷市で育つ

1983年 株式会社大進商行（現在の株式会社サンポップ）入社 サンポップアヤセの運営管理業務を担当。

1996年 再開発事業から参画をして、サンポップマチャヤSC（東京都荒川区町屋 町屋駅前中央地区再開発事業）を開店させ、商業部分の運営管理業務及び所有者であるセンターまちや管理組合から、全体の組合管理業務を受託して業務全体を担当する。

2007年 ビビオSC（東京都北区赤羽）の管理運営業務及びビビオ共有床事業組合の事務管理業務を受託する。

2010年 市川II-Link Town（千葉県市川市 市川駅南口再開発事業）の『いちかわモルズ店舗会』の運営業務を受託する。

2010年 再開発事業から参画をして、イーストコア曳舟三番館（東京都墨田区京島 曳舟駅前地区第一種再開発事業）を開店させ、イーストコア曳舟商業館管理組合の管理業務を受託する。

主に再開発事業における複合用途の小型SCの開発及び運営管理業務、再開発管理組合業務に携わってまいりました。

また、協会活動では12年前に関東甲信越支部の単館SC研究会の立ち上げ時からお手伝いをさせていただいております。当初のミッションの一つである「百貨店で開催されている物産展を単管SCでも開催できないか。」については、単管SCの先方として各地のみならずとお話をさせていただきました。コロナ禍の中で物産販売事業も大きな影響を受けましたが、地方生産者の商材をJTBが販売部門を受託して首都圏のSC等で販売する地域応援消費販売会という新たな企画も生まれました。まだまだ、越えるべきハードルは多くありますが、最終的には各地のみならずとモノだけではなく、人と人の交流活動で繋がることを目標にして、現在、その他のミッションも含め、フォルマ田中座長を中心に積極的な活動を行っております。お陰で仕事関係以外でも多くの方とお知り合いになることができ、リアルの楽しさを実感させていただいております。うれしいご縁のひとつで、プロフィールの写真も旭川で知り合いました玉置浩二さんの専属カメラマン（旭川在住）の方に撮っていただいたものですが、今回初めて使わせていただきました。

### ●趣味

〔旅行〕子供の頃から鉄道好きで、学生時代は旅行研究部、鉄道研究会に所属しておりました。学生時代は、夜行列車等を利用しての貧乏旅でした。社会人になったら稼いだお金でと思っていましたが、今度は思うように休みがとれず、結婚してからはある時には女房殿のご機嫌を伺いながら、ある時は息子を口実にしてフルートレインや廃止前の国鉄車両に乗れたのもよき思い出です。物産展の関係などで北海道に行くことが多くなりましたが、鉄道好きと知っていただいからは、道内での移動中にお気を使っいただき、遠回りをして廃線になった線路や駅舎、映画等の撮影舞台の駅舎等にもお連れいただきストレスを発散させていただいております。曳舟の仕事をお受けしてから、憩いの休息場にさせていただいている地元珈琲家のマスターに北海道の話をしておりましたら、調度来店されていた高倉健さんの専属カメラマンをされていた常連の方をご紹介いただいて話が盛り上がり、鉄道員（映画）の撮影中に撮られた高倉健さん笑顔の貴重なスナップ写真をプレゼントしていただくことになり、旭川の同志にお願いをして南富良野町にお伝えいただいたところ、大変感激していただき幌舞駅（幾野駅）に掲出させていただきました。

南では、宮古島の海の青さも忘れられません。2014年のブーム前に出展の勧誘で琉球泡盛多良川酒造さんにお邪魔した時に飛行機搭までの短時間でしたが砂川社長にご案内をいただきました空と海の青さは印象的でした。多良川さんにお預けしている甕入り泡盛酒も5年目に引き取りにいけませんので、来年には訪ねたいところです。

もう一箇所、地元物産品のアピールをしたいとの相談を受けたのがご縁で奄美大島も訪ねさせていただいておりますが、鈍感だと自負している自分が、亜熱帯の森「金作原生林」に行きました時には上からマイナスイオンが降り注いでくるような体験を受けたのには驚きました。サンセットショーの美しさに時を忘れてしまいましたが、自然とうまく共存した景勝地や、体験スポットが島内に沢山あります。今年世界遺産に登録されましたが、人が優しく、黒糖焼酎と食べ物が美味しい、自然に恵まれた素晴らしい島ですので、特にストレスが溜まっている方にはお薦めのスポットです。

地方の方々と交流が、趣味の旅行の機会までいただくことになり、ご縁をいただきましたことに感謝あるのみです。

〔落語〕中学生の頃から、単行本の古典落語集を読んだり、ラジオの寄席番組を欠かさず聞いておりました。社会人になり、浅草演芸ホールで初めて生で寄席を見た時の枕（噺の本題に入る前のちょっとした話）で、その日のタイムリーなニュースを取り入れての観客の掴み方、噺に入り観客を引き寄せる話術、特に「間」の取り方、このプロの技には衝撃を受けました。「笑う門には、福来る！」疲れた時には、一人でも寄席に行き、大笑いでストレス発散をしています。さらにこの枕の入り方や話術は、会議の進行や人前で話をする時の良き手本にもさせていただきました。ぜひ一度、寄席をご覧になれることをお勧めいたします。

また、市川開発事業時に自分が相当疲れた顔をしていたようで、心配された行政の方からお茶に誘っていただきストレス発散法の話になった時、落語の話をしたところ、同じ趣味だと意気投合。古今亭菊乃丞師匠をご紹介いただき、話がトントン拍子で進み、翌年からサンポップマチャヤ主催のサンポップ寄席をスタートし年2回ペースで開催しています。新型コロナウイルス感染症対策の影響で昨年は中止いたしました。今年の11月で26回を迎えます。ただ残念なのは、仕事と胸を張って落語を楽しめると思っていたのに、入場券のめぐりから誘導整理等に追われ、会場から漏れ聞こえる噺を少し聞ける程度である事です（笑）。ただ、入場券を購入いただいているのにも関わらず、打ち出しの際にお客様から「楽しかった。ありがとう。」とお声掛けいただける事は働く活気に繋がっております。



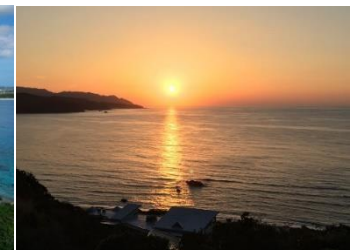
【鉄道員 幌内駅】



【土幌線橋梁跡】



【宮古島】



【奄美大島の夕日】

# 【今、見ておくべきSC】

## おやまゆうえんハーヴェストウォーク

(三菱商事・ユービーエス・リアルティ株式会社/株式会社ザイマックスアルファ)

■施設概要 栃木県小山市喜沢1475

スーパーマーケット・映画館・ホームセンターと約70の専門店

■公式HP <http://harvestwalk.com/>



この連載では、SCマニアを自称する編集部の面々が「仕事が忙しくてSC見に行けない」「いまだ知らない本当の良いSCを知りたい」というご要望に応え、“わざわざ時間を作って見に行く価値のあるSC”をご紹介します。

北関東随一のエンターテインメントSC代表格・おやまゆうえんハーヴェストウォーク。「遊園地跡地のSC化」として有名な物件ですが、実は近年大きな変貌を遂げています。

今回は、現地運営責任者である川崎さん((株)ザイマックスアルファ)にお話を伺い、楽しく、のんびり、お買い物もできる『SHOPPING IN THE PARK』に相応しい素敵な空間をご紹介します。

### 注目ポイント①【北関東最大級の天然芝生広場！】

2020年8月に屋外広場フォレストガーデンが天然芝の広場に生まれ変わりました。北関東の商業施設で最大級となる1,500㎡の大型の芝生広場は、1年を通じお客様の憩いの場に。ピクニックセットや、広場を活かした『ひかりの実』イベントは大人気。ウォータープラザなど屋外広場がファミリーから絶大な支持を獲得しています。



### 注目ポイント②【SDGsなワークショップ！】

コロナ禍前から多くのイベントや大型のシーズン装飾でも有名なハーヴェストウォークですが、実は時代を先取りしていたのがSDGs。イベントをはじめ、地球環境への啓蒙・訴求を3年以上続け、サステナブルな施設づくりを積極的に推進しています。



### 注目ポイント③【ドローン・Youtube・SNSなどDX化！】

ハーヴェストの代名詞・メリーゴーラウンド。他にも大型遊具や映画館など楽しい施設がいっぱいですが、時代にマッチして遠方来客に『来る前に選択』してもらう為デジタル活用を推進。

オープン空間がわかるドローン空撮や店舗取材のYoutube、2万人を超えるLINEだけでなく近年はGoogleマイビジネスにも注力し、最近では施設公式HP以上のPVをたたき出すまでになりました。



### 注目ポイント④【本気の地域密着！途切れぬ絆で、前へ！】

地域との対話。環境の変化する時代に、ハーヴェストウォークが掲げた新たな方針は『Locustomize Community SC』。

SDGsイベントの実施や芝生広場活用・出店まで地元の方々がそれぞれの立ち位置で関わる地域に愛されるSC。

今後も大注目間違いありません！ (中山)



### インタビュー：川崎 裕史 (かわさき ゆうじ) 氏<SC経営士>

5年前から当SCに携わっていますが、飽きることなく魅力の深い施設だと実感します。映画館や隣接地に温泉もあり、広域商圈のSCに見えますが実は地元の方々に愛され続けるローカル型。接客やイベントなどはもちろん、特にロイヤルカスタマーになる、日々ご利用いただくお客様に最適な施策を目指し、データと体感を大切にしております。



## 【withコロナの施設運営事例】GINZA SIX 佐藤さん

GINZA SIXは2017年4月20日に、松坂屋銀座店の跡地を再開発して、オープンしました。初年度600億円の目標を達成、開業時はインバウンド率が30%を超えておりましたが、コロナ禍で、海外のお客様がほとんどいなくなってしまっており、厳しい状況が続いております。しかしながら、ラグジュアリーモールとして、多くの旗艦店が出店しておりますので日本の富裕顧客層が、多く来館して頂いており、少しずつですが、上向きになってきております。



コロナ対策ですが、銀座という立地柄、安心安全に力を入れており、お客様の入口を限定しており、有人で検温対応しております。マスクをつけていない方には不織布マスクを提供しております。(今はつけていない方はほとんどいませんが) また、銀座通り側の入口には、ポータブル手洗いスタンド「WOSH」を設置しており、手指のアルコール消毒だけでなく、手洗いを啓蒙しております。大変好評で、よく利用されております。アルコール消毒では、手荒れをされる女性の方に喜ばれております。



【エントランス】



【検温実施中POP】



【手洗いスタンドWOSH】



【インフォメーション】

また、癒しのおもてなしとして、お客様用トイレ付近にアルコール消毒に加えハンドローションを設置しております。

こちらのハンドローションは、出店頂いているテナントさんから購入させて頂いており、館のレピュテーションを高めるだけでなく、テナントさんのPRにもつながっております。



【トイレ入口】



【ハンドローション】



【エレベーター人数制限POP】

他には他の商業施設と基本的に同様かと思いますが、密にならないように、客用エレベーターの人数制限を行い、併せてエスカレーターへの誘導を促進しております。

従業員エレベーターについても人数制限と階段の利用を促進するべく2UP3DOWN運動を行っております。また、客用・従業員喫煙室ともに人数制限を行っていたり、従業員休憩室も一人ずつ狐食となるようにパーテーションを設置したりしております。

従業員休憩室や喫煙室については、利用の状況を確認するため、商業運営室のスタッフが輪番で巡回して、テナント従業員さんが気持ちよく利用できているか確認をしております。(密になっていないか、大声で会話していないか等)



【従業員用エレベーター】



【従業員ロッカー室POP】



【従業員休憩室】



【喫煙室POP】

営業面では、飲食店が厳しい状況にありますが、積極的に店舗誘致に力を入れており、8月25日に「イタリー」が日本の旗艦店(330坪)としてオープン、27日には「日本橋鰻伊勢定〜蓮〜」がオープン、9月10日には香港の高級広東料理店で腕を鳴らした総料理長による中国料理「家寶跳龍門」がオープン致しました。

今後も、「Life At Its Best」(最高に満たされた暮らし)をコンセプトに唯一無二のラグジュアリーモールを目指していきます。

### ■プロフィール

#### 佐藤 勝彦さん(11期)

GINZA SIXリテールマネジメント株式会社 総務施設部長

1987年 株式会社東急百貨店入社。1999年 住商アーバン開発株式会社入社。

2001年 晴海トリトン館長、2005年 デックス東京ビーチ総括支配人、2011年 テラスモール湘南総括支配人。

2015年 GINZA SIXリテールマネジメント株式会社に出向。2017年 GINZA SIXオープン 現在に至る

## 新SC経営士に聞く 坂本 葵 さん

株式会社ルミネ ニュウマン新宿店 営業支援グループリーダー ヒル部統括

### ●受験の動機と感想

最初は上司からの勧めがきっかけでした。実は過去受験した際に不合格だったので、自分なんかにも…とも思ったのですが、「もし、この量の幅広い分野の知識を身につけられたら、実務にもかなり活かそう!」と感じていたのと、単純に不合格が悔しかったのを思い出し(笑)入社して丸10年経ったこともあり、一つの区切りのつもりで受験しました。結果、試験勉強を通じて自分に足りない知識を補い、体系的に学ぶことができ、受験して良かったなと思っています。

### ●今後の抱負

コロナ禍で様々な環境変化があり、今まで通りには行かないことを現場で痛感しております。そのため、SC経営士会での皆様との交流を通じて、知識や視野を更に広げていきたいです。また、名刺に「SC経営士」と記載されたので、受かって終わりではなく、社内で後輩指導に活かしたり、自分自身をアップデートしていきたいです。

### ●プロフィール

1988年2月生まれ 東京都出身  
2010年4月 株式会社ルミネ入社 ルミネエスト店配属(主に販売促進業務)  
2015年2月 ルミネ町田店配属(主にリーシング業務)  
2018年4月 ニュウマン新宿店配属(主に後方支援業務)~現職  
美大のデザイン科卒のためポスター等何か作ることが得意です。  
趣味は、ドラム(都内クラブ・野外フェス中心にバンド活動中)です

### ●写真

右 : ニュウマン新宿店のオフィス入口。  
可愛いシカのオブジェが出迎えてくれます。

左 下: 渋谷club asiaでのイベント出演時。  
曲のジャンルはハウス・テクノ・ダブ等です。

中央下: 下北線路街でのイベント出演時。  
会場音量制限のためカホン(箱型パーカッション)で演奏代用。

右 下: よく食べ・よく飲む! お酒はどれも大好きなので、  
皆様と乾杯できる日を楽しみにしております!



## 新SC経営士に聞く 西田 真梨子 さん

阪急阪神ビルマネジメント(株) SC第三営業部

### ●受験の動機

入社よりSC運営に携わってきたものの、担当物件に対しての知識に偏ってきてしまい、視野を広げて体系的にSC運営やSC業界について学ぶ必要を感じておりました。そんな中でSC経営士でもある上司の姿を拝見し、自身も経営士となりいろいろな方の考えなどを聞いてみたいと思い受験を決意しました。知識不足を痛感した受験勉強ではありましたが、上司の励ましや一緒に受験した同期の存在に支えられてなんとか合格でき嬉しく思います。

### ●今後の抱負

SC経営士受験で知識や自分の考えを整理するきっかけになったと同時に、日々変化する環境の中において学び続ける必要性を感じました。今後も、SC経営士の先輩方との交流を通して、さまざまなことを吸収し、これからのSCに寄与できるよう精進していきたいと思っています。どうぞよろしくお願いいたします。

### ●プロフィール

2015年阪急阪神ビルマネジメント(株)に入社。  
グランフロント大阪の運営・リーシング業務に約5年間携わりました。  
2020年秋に阪急西宮ガーデンズに異動となり、運営・リーシング業務に携わっております。  
都心型の商業施設から地域密着のショッピングモールに担当が変わり、お客様がSCに期待することや、周辺環境の変化を感じる毎日です。

### ●写真

右 上: 食べることが趣味です。コロナが落ち着いたなら西宮のお店の開拓をしていきたいです。

左・中央下: 年に1回の海外旅行が自分へのご褒美です。また海外に行ける日が待ち遠しいです。

右 下: 個人的なガーデンズのイチオシは館内植栽や季節装飾のクリスマスツリーや桜に本物の緑を使用しているところです。写真は今年の春の桜装飾です。



## 新SC経営士に聞く 村田 剛章 さん

株式会社千葉ステーションビル / 海浜幕張支店 兼 京葉くらしづくり部 サブリーダー

### ●受験の動機と感想

業務を通じてSCの最前線である現場と売場支援をする店舗開発の両方を経験し、体系的なSCの“いろは”を学ぶことが出来ました。その一方で、建築や法律のこと、社会的な課題、経済に関する情報等、運営に必要な不可欠な知識が不足しているという自身の課題も見え始めた所で、SC経営士の存在を知りました。

丁度その頃に尊敬する上司や先輩が新たにSC経営士となり最前線で活躍している姿を間近で目にして、私も「こうなりたい、こうならなければ」と思ったことが受験したきっかけです。

### ●今後の抱負

今、私が働いている所は色々なバックボーンを持つ社員が集まる、賑やかな職場です。それぞれSCの運営を十年以上経験しているベテラン社員から全く未経験の社員まで、バラエティに溢れています。決して奢らず常に謙虚な姿勢で学びの姿勢を忘れずに、人と人との交流を通じ成長していきたいと思えます。

### ●プロフィール

2013年に株式会社千葉ステーションビルに入社しました。  
エキナカや駅ビルでの現場運営と店舗開発や地域活性の本社業務を2年弱のスパンで行ったり来たりしています。入社して8年が経ち、異動は早6回を数える程になりました。  
現職では、JR京葉線の駅直結SC「ペリエ海浜幕張」「ペリエ稲毛海岸」「ペリエ検見川浜」の3館の運営管理を担当しながら、京葉線の高架下スペースの利活用をハードとソフトの両面から推進する業務も兼務しています。

### ●写真

右上:ペリエ海浜幕張の事務所でコピー機に挟まれる私  
左 :7歳の娘は動物が大好きで、休日は「アニマルテーマパーク」を巡っています。  
右 :サンリオも大好きな娘にせがまれて、毎日色々お金を使わされます…。



## 新SC経営士に聞く 鈴木 惇也 さん

イオンモール株式会社 CX創造本部 京滋・北陸事業部 営業サポートG 担当

### ●受験の動機

入社後10年近くSC運営に携わってきましたが、国内外で活躍する先輩方が有するSC経営士の資格を取得することで、自身の経験の腕試しとキャリアの再確認の機会になると考え受験しました。また、海外事業に携わることを社内キャリアの次の目標にしており、海外のSC視察と現地の風土体験のために毎月海外渡航しておりました。しかし、コロナ禍でそれができなくなり腰を据えて座学に励みました。

### ●今後の抱負

当社は2025年に目指す姿として、「グローバル商業ディベロップメントトップクラスの水準」と「国内各エリアでの圧倒的な地域No.1モールへの進化」を掲げています。取り組むべき領域は広く課題も多いですが、内弁慶でなく視野を広げ、外の世界と積極的に関わり交流・協働する機会を持つことが不可欠と考えています。『自ら考え、自ら行動する、スピードを上げて』自分自身が成長し続ける事が会社の成長に寄与すると信じ邁進します。

### ●プロフィール

1986年愛媛県松山市生まれ。  
2009年 イオンモール(株)入社 イオンモール倉敷オペレーション担当  
2012年 イオンモール新居浜 オペレーション担当・営業担当を経てオペレーションMGR  
2015年 イオン相模原SC オペレーションMGR  
2018年 現部署にて京都・滋賀・北陸エリアのモールサポートを担当。  
19年にイオンモール高岡増床、21年にイオンモール白山開業に携わる。  
現在は、新型コロナウイルス関連の諸般を専任で対応

### ●写真

右 上:本人写真(イオンモールロゴと一緒に) 左 下:17年に視察したラオスの「Vientiane Center」  
中央下:漫画「キングダム」の戦場となっている函谷関。 右 下:コロナ前のライブ現場。



## 新SC経営士に聞く 戸田 健吾 さん

JLLモールマネジメント株式会社 セールスプロモーションチーム チームディレクター

### ●受験の動機と感想

SCアカデミーの同期やお世話になっている先輩社員が合格して喜んでいる姿を見て私も挑戦してみようと思いました。

### ●今後の抱負

今年からSCの販売促進業務を担う部署に配属されました。スマートフォンから取得するGPS情報と売上に関するビッグデータのAI解析を掛け合わせたら、近い将来、売上の好不調の原因や販促施策による売上効果をより正確に数値で分析できるようになると思います。それらを駆使して、コンサルティングの領域までサービスできるようになれば楽しそうだな、と夢想する今日この頃です。

仕事を通じて全国に出掛け、新しい出会いや経験をえられることにやりがいを感じるので、早くコロナ禍が収束して欲しいです。

### ●プロフィール

1984年生まれ、千葉県出身。

2007年、前身の株式会社丹青モールマネジメント(SC専門のPM会社)に入社。

以下のSCのPM、リーシング、開業支援業務に従事。

Ati郡山(福島県郡山市)、ティアラ21(埼玉県熊谷市)、

広島マリーナホップ(広島県広島市)、クラスポ蒲郡(愛知県蒲郡市)、

させば五番街(長崎県佐世保市)、ユニモちはら台(千葉県市原市)、

ザ・モール仙台長町(宮城県仙台市)、サクラマチクマモト(熊本県熊本市)、

イコアスク城台(千葉県千葉市)。

2021年6月より現職。

### ●写真

左下:長女の1歳の誕生日の時のもの。娘の表情に私の印象が表れています。

左中:お笑いが好きで、後輩(写真左)と一緒にオードリーのイベントに行ったこともあります。

右中:SCアカデミー(12期)の時の思い出。同じ業界で頑張っている人と知り合えたことが働くうえで大きな励みになっています。

右下:中学生の時からお囃子をやっています。写真は地元の祭りの模様がケーブルテレビで放送されたときのもの。

左側に映り込んでいるのが私です。



## 編集部の新メンバーをご紹介します！

【THE CIRCLE】21号目より、新たな編集メンバーが加わりました。榎根さんです！



### ■ご挨拶

はじめまして。45歳までに『世界1周開始』を実現すべく仕事に励んでおります榎根(カシネ)と申します。

2021年3月にベトナムから帰国し、6月に現部署配属となりました。先月からメンバーになられた宮地さんと同じく日本帰国後、「チャレンジ1年生!!」として、新しいことに取り組んでおります。その一環としてSC経営士の活動にも深く携わりたいと思い、メンバーに応募し、選出頂きました!! THE CIRCLEが皆様の「行動」に繋がるマガジンになるよう、編集部の皆さんと楽しみながら編集していきます!宜しくお願い致します。

### ■プロフィール

榎根 亮(37歳) SC経営士27期 イオンモール株式会社 CX創造本部 中四国事業部 営業サポートG マネージャー

1984年4月生まれ 奈良県出身。立命館大学国際関係学部卒業。2011年イオンモール(株)入社後、「イオンモール倉敷」で増床活性化業務に従事。その後、「ならファミリー」でプロパティマネジメント業務に従事。15年より「アセアン本部」で子会社の統括管理業務に従事。19年より「AEONMALL VIETNAM CO., LTD.(ハノイ駐在)」でベトナム法人の管理業務に従事。21年日本帰国し、現職。「お金」より「時間」の信念のもと、日々、時間浪費をしないため、自分と格闘中。



## ～LINK～ 経営士の輪

この連載では、世界で活躍するSC経営士の皆様をリレー形式で紹介します。

### 【前回登場の山崎さんより】

JR九州グループのSC経営士をご紹介します!アミュプラザ鹿児島を運営している「(株)鹿児島シティ」の加治屋さんをご紹介します。鹿児島シティのエースで飲食ゾーンリニューアルやリーシングのプロフェッショナルです。アミュプラザ鹿児島には環境の良い飲食食品や土産ゾーンがありますが、加治屋さんが担当したものばかりですので、ご視察の際は加治屋さんの顔を思い浮かべてください。皆様からは宮崎も鹿児島も遠いと思いますが、コロナ空いたら南九州にぜひお越しくださいませ～!では、お願いします。

## 加治屋 浩さん (24期)

株式会社JR鹿児島シティ  
営業部 営業二課 課長  
1984年12月16日生まれ  
2007年4月入社  
h.kajiya@jrkagoshimacity.co.jp



山崎さんからご紹介頂きました株式会社JR鹿児島シティの加治屋です。SC経営士の皆さま、よろしく申し上げます。

私が所属する部署は当社が運営する「アミュプラザ鹿児島」の食品、飲食店舗及び駅ナカ商業施設「さつま 鹿児島中央駅」を担当しております。現在(9/8時点)、鹿児島県は「まん延防止等重点措置」に伴い、飲食店舗は酒類の提供を自粛、営業時間も短縮しており、テナントさまにとって大変厳しい時期が続いており、当社も一層努力していかなければならないと痛感しております。

暗いニュースが多い昨今ですが、鹿児島の明るい話題といえば、2021年6月18日にOPENした「Li-Ka1920」(読み方:ライカ イチキューニーマル)さん。当社が管理するアミュプラザ鹿児島とはペデストリアンデッキで繋がっており、Li-Ka1920が入る鹿児島中央タワーの高さ(98.98m)は鹿児島県庁庁舎を抜き鹿児島県で一番高い建物です!!鹿児島初の「タワマン」は何とも神々しいです。



【アミュプラザ鹿児島】



左:Li-ka1920、右:アミュプラザ鹿児島 プレミアム館

ちなみに個人的にこの1年半で変わったことは

### 1. 将棋を始めた

藤井二冠に触発され、36歳で将棋デビューしました。アプリ「将棋ウォーズ」で遊んでいます。

### 2. ちょっと運動するようになった

YouTubeで「ザ・きんにくTV」(なかやまきんに君)を見ながら宅トレしたり、しなかったり。なかなか続かない、、、。

### 3. キャッシュレス決済の頻度が増えた

PayPay派です。月に1回しかATMを利用しなくなるとは。

また、マスク着用の今だからこそ、ひっそり、着々と進めているのが「ヒゲ脱毛」です。始めてから、かれこれ2年程経つのですが、進捗状況としてはコロナが終息してマスクを外せるのが先か、脱毛が完了するのが先かという感じです。(写真はヒゲと私です。)

SC経営士のみなさんも、今は移動が難しい時期ですが、コロナ終息後には鹿児島にタワマン見に来ませんか?一緒に黒豚しゃぶしゃぶと白熊を食べてリベンジ消費しましょう!



第23期SC経営士の高橋 駒貴です。

私が入会している愛馬会「シルクホースクラブ」に愛する角田厩舎への募集がない日々が続く、月々の会費（3,300円/税込）を支払うだけのクラブライフに耐え切れず、浮気をして1歳馬に一口出資してしまった今日この頃。

※出資馬は「ランニングボブキャッツの20」（→右写真）  
（牝、美浦・堀厩舎予定、父：キンシャサノキセキ 異父兄にGI馬アジアエクスプレス）  
1口5万円（総額2,500万円）なのでお手頃ではありません。

改めて私の小遣いがダダ漏れしている（と家族に揶揄される）一口馬主の仕組みを整理すると、以下のとおりとなります。

一口馬主のクラブは、愛馬会法人とクラブ法人（馬主）の2つの法人によって成り立っています。愛馬会法人とクラブ法人は金融庁と農林水産省による商品投資販売業者の許可番号を持っていますが、愛馬会は馬主資格を有しない。一口馬主になりたい（出資したい）人は愛馬会法人の会員となって同法人に出資（匿名組合契約）し、愛馬会は出資金を用いて取得した競走馬をクラブ法人に現物出資する。クラブ法人は現物出資された競走馬をレースに出走させ、獲得した賞金を愛馬会法人に配当し、さらに会員に分配する。（出典：一口馬主DB）

さて、出資までの間、他の愛馬会に乗り換えることも検討し色々調べたのですが、その時に驚いたのが現在登録されている法人の数。11号の会報でも少し触れてはいたのですが、改めて見てみると現在22法人。これに10月1日から「インゼルサラブレッドクラブ」が仲間入り予定なので、23法人になります。特にここ10年の増加が著しく、調べただけでもざっとこんな感じです。

- 2010年 GIサラブレッドクラブ（社台系）
- 2011年 ノルマンディーオーナーズクラブ（マイネル系）
- 2015年 サラブレッドクラブライオン（サラブレッドクラブセゾンからの改称）
- 2017年 ワラウカド
- 2017年 DMMバヌーシー
- 2017年 ニューワールドレーシング
- 2018年 YGGオーナーズクラブ（ブルーインベスターズからの改称）
- 2020年 京都サラブレッドクラブ（ニューワールドレーシングからの改称）
- 2021年 インゼルサラブレッドクラブ

各クラブには母体によって特色が異なり、生産牧場が母体となって運営されているクラブは自家生産した仔がラインナップの中心となり、個人馬主が係わるクラブではセリで購入した仔や過去自身が所有した母馬の仔、異業種から参入したクラブはほぼセリもしくは庭先取引で購入した仔が募集され、クラブの歴史が長くなれば、過去所属したクラブ競走馬が引退後繁殖牝馬となり、その仔が募集されることが一般的です。

人によっては複数のクラブで出資される方もいますが、私はそこまでの余財がなく基本1法人に愛を注いでいます。（シルクさんは2社目で、入門は「グリーンファーム愛馬会」さんでした）

とは言いながら、10月から募集を開始するインゼルさんが非常に気になっています。理由は新しい出資の形となる「Insel Fun Fund 2021」で、2021年度の対象馬（15頭）をパッケージ化しているため、リターンは少ないものの、毎週とまではいきませんが頻繁に自分の出資馬が走る姿を見られるのは魅力的で、飲み食い少なくなった昨今の小遣いの使い方としてもう1社追加しようか真剣に悩みながら、コロナ禍のSC運営に挑んでおります。（また家族からの批難の声があがりそうですが）



■プロフィール  
高橋 駒貴（23期）

2005年入社後、たまプラーザ東急SC、たまプラーザ テラス、グランベリーモール、本社リーシング部門、たまプラーザ テラスを渡り歩き、2019年10月より青葉台東急スクエアに着任し、現在に至る。  
競馬との繋がりは深く、軽く四半世紀は超え。好きが高じて大学卒業後、北海道の競走馬育成牧場に就職したという経歴の持ち主。

【編集後記】

本誌【THE CIRCLE】が、通算20号を迎えることとなりました。この3年間、ご覧いただいているSC経営士のみならず、また日頃よりご支援、ご指導をいただいているSC経営士会、SC協会、そして業務・広報グループのメンバーのおかげです。この場をお借りし、御礼申し上げます。

2020年、SCビジネスフェアの直後から、コロナ禍の長いトンネルが続いてきましたが、いまようやく、その出口の光が見えてきた、そんな期待の一方で、出口の先は、かつて期待されたような、オリパラや万博、インバウンドやIRに沸き立つ事業環境とは、全く異なるものになりそうですし、脱炭素社会の実現に向けたソフトチェンジも、待たなしとされているところです。

事業性の確保と、企業市民、地域社会のインフラとしての責務。思考停止に陥ることなく、事業コンセプトや経営理念に立ち返り、社会環境の変化に応じて必要な見直しは厭わず図り、その役割を果たしていきたいものです。

今回も最後までお付き合いいただき、ありがとうございました。

担当：今井（16期）

- ◆所属先・部署・役職に変更がありましたらお知らせください。
- ◆「SC経営士ニュース」に対するご意見・ご感想は、こちらにお願いします。

SC経営士会 業務広報グループ  
田部井（17期）  
[ktabei@gms.tokyo-dome.co.jp](mailto:ktabei@gms.tokyo-dome.co.jp)  
SC協会 SC経営士会事務局  
[sckeieishikai@jcsco.or.jp](mailto:sckeieishikai@jcsco.or.jp)

